

AtermIT/ITX シリーズ、Aterm ワイヤレスシリーズ インターネット接続手順 Macintosh FreePPP V.2.6.2J の場合

はじめに

この説明書では、Macintosh 用ダイヤルアップソフトウェア「FreePPP V2.6.2J」を使ってインターネットに接続するための設定を説明しています。

(ご注意)

- ・本書では、Power MacintoshG3 (Mac OS 9.0 日本語) に FreePPP V2.6.2J をインストールしてインターネットプロバイダBIGLOBEに接続した場合の画面を用いて説明しています。Macintosh パーソナルコンピュータの機種、Mac OS のバージョンによっては画面が異なる場合があります。
- ・Macintosh と Aterm を USB ケーブルで接続する場合は、USB ドライバをインストールが必要になります。USB ドライバのインストール方法については、ご利用になっている Aterm の取扱説明書をご覧ください。

FreePPP の入手方法について

次のような方法で入手ができます。

- (1) 雑誌などの付録で添付されている CD-ROM から入手する。
- (2) ソフトウェアサイトからダウンロードして入手する。

目次

- 1 . FreePPP のインストール
- 2 . TCP/IP の設定
- 3 . FreePPP Setup を開く
- 4 . 基本設定
- 5 . プロバイダの設定
- 6 . ダイヤルアップの設定
- 7 . オプションの設定
- 8 . モデムの設定
- 9 . 接続先・機器設定
- 10 . 接続
- 11 . 切断

1 . FreePPPV2.6.2Jのインストール

(1) FreePPP V2.6.2J に付属している「インストールの方法」を参照してインストールしてください。

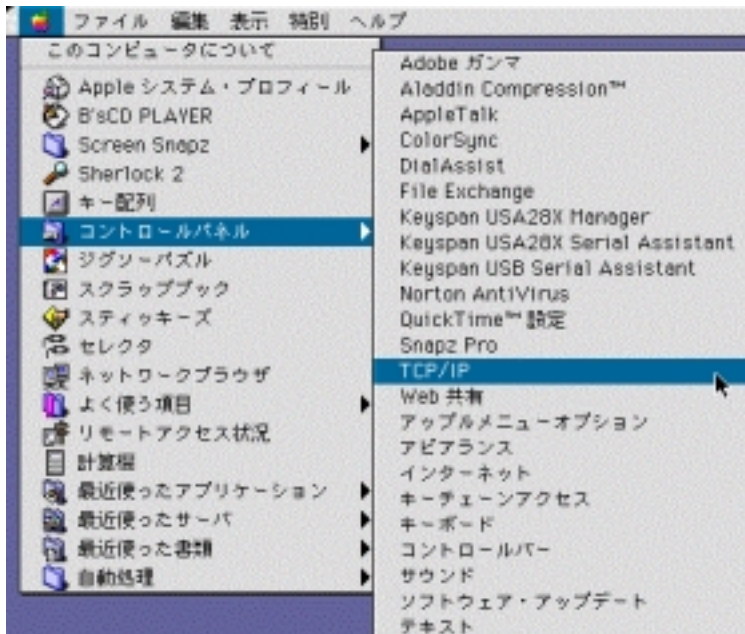
(2) Macintosh を再起動します。

再起動するとメニューバーの右側に「電話マーク」アイコンが表示されます。



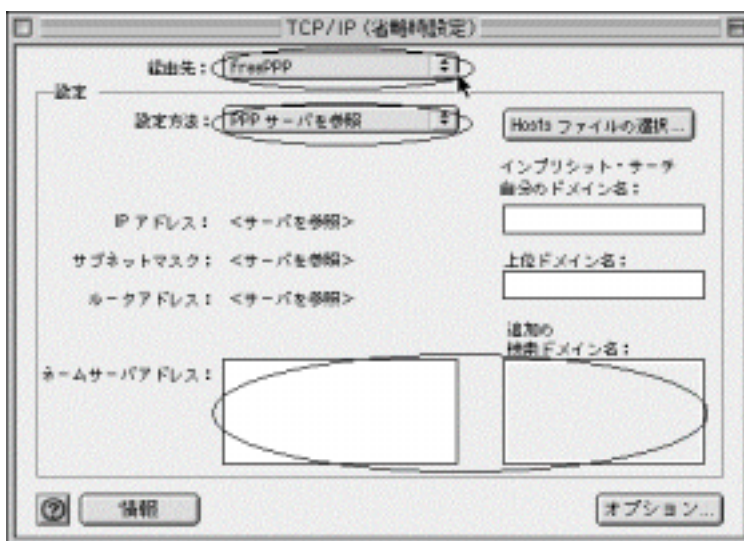
2. TCP/IP の設定

- (1) メニューバーのアップルマークをクリックし、「コントロールパネル」から「TCP/IP」を選択します。



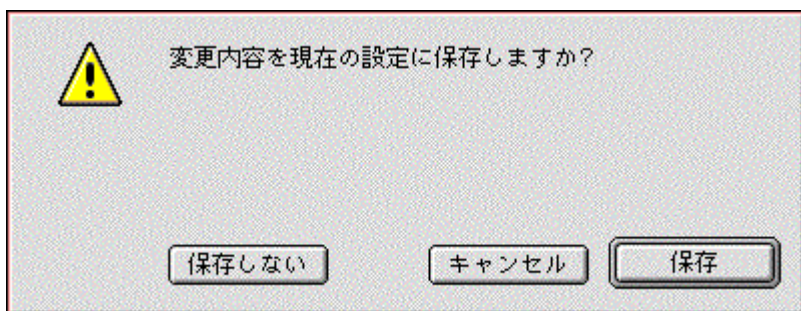
- (2) TCP/IPを設定します。

- 1) 「経路先」のプルダウンメニューから「FreePPP」を選びます。
- 2) 「設定方法」のプルダウンメニューから「PPP サーバを参照」を選びます。
- 3) 「ネームサーバアドレス」欄にプロバイダから通知された DNS の IP アドレスを入力をします。
「追加の検索ドメイン名」欄にプロバイダから通知されたドメイン名を入力します。
入力は、プロバイダから通知された英数字(大文字、子文字)を正しく半角で入力してください。
DNS の設定の必要性がないプロバイダの場合は、「ネームサーバアドレス」欄や「追加の検索ドメイン名」に設定する必要はありません。



- (3) TCP/IPの設定が終了したら「TCP/IP」画面左上のクローズボックスをクリック

クします。
(4)「保存」ボタンをクリックします。



これで、TCP/IPの設定が終了しました。

3 . FreePPP Setup を開く

- (1) メニューバーの右端にある「電話マーク」アイコンをクリックし、表示されたプルダウンメニューから「FreePPP Setup を開く」を選択します。



- (2) 画面左下にある三角アイコンをクリックします。



4. 基本設定の設定

(1) 「基本設定」タブをクリックします。「基本設定」を行います。



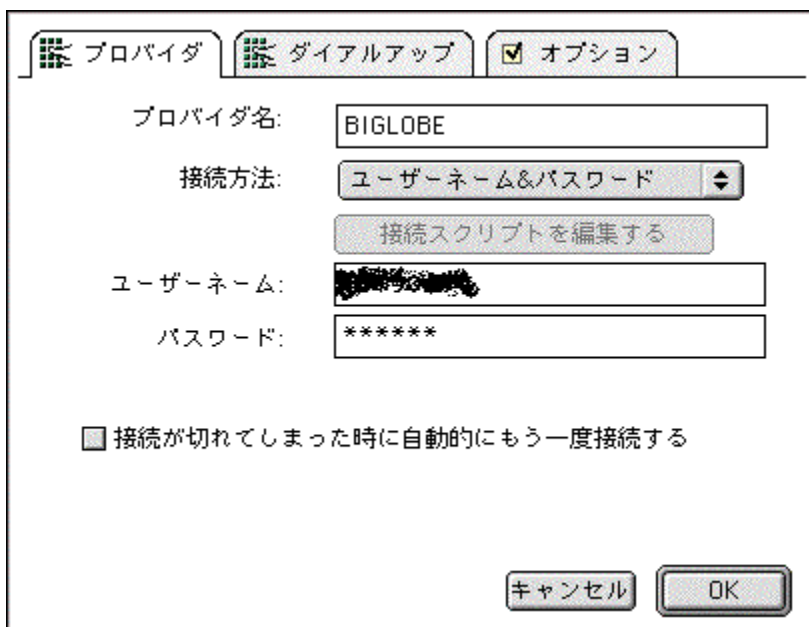
- ・「アプリケーションが接続を開くことを許可する」をチェックします。Web ブラウザなどのTCP/IP を使うアプリケーションの起動と同時にFreePPPによる自動接続を行う機能です。
- ・「送受信のない時に自動的に切断する - 切断までの時間」について：
 - フレッツ・ISDN を利用して接続する場合は、「送受信のない時に自動的に切断する - 接続するまでの時間」のチェックをはずします。
 - フレッツ・ISDN を利用していない場合は、「送受信のない時に自動的に切断する - 接続するまでの時間」をチェックします。
- ・「接続しているときは常に回線状況をチェックする」をチェックします。
- ・「接続時と切断時にダイアログを表示する」をチェックします。接続・切断時の FreePPP の情報表示を行う機能です。
- ・「接続時に自動的に「FreePPP Setup」を開く」をチェックします。

5. プロバイダの設定

(1)「プロバイダ」欄のプルダウンメニューから「新しいプロバイダ」を選択します。



(2)「プロバイダ」タブをクリックして設定画面を表示させます。



- ・「プロバイダ名」の欄には、任意の名称（一般的には接続するプロバイダ名）を入力します。
- ・「接続方法」欄のプルダウンボタンをクリックして表示されたプルダウンメニューから「ユーザーネーム&パスワード」を選択します。
- ・「ユーザーネーム」の欄には、プロバイダから通知されたユーザ ID を入力します。
特にフレッツ・ISDN を利用している場合は間違いのないようにしてください。
- ・「パスワード」の欄には、プロバイダから通知されたパスワードを入力します。

(ご注意)

・パスワード入力の際には、“*****”のような表示となります。これは入力したパスワードを隠すためです。

6. ダイヤルアップの設定

(1)「ダイヤルアップ」のタブをクリックします。アクセスポイントの電話番号を入力します。

プロバイダ ダイヤルアップ オプション

メインナンバー:

市外局番:

電話番号:

市外局番をダイヤル 長距離電話としてダイヤル

サブナンバー-1:

市外局番:

電話番号:

市外局番をダイヤル 長距離電話としてダイヤル

サブナンバー-2:

市外局番:

電話番号:

市外局番をダイヤル 長距離電話としてダイヤル

キャンセル OK

- ・「市外局番」の欄には、市外局番を入力します。
- ・「電話番号」の欄には、市内局番から入力します。

(ご注意)

- ・フレッツ・ISDN を利用している場合は、NTT から通知された電話番号を入力してください。

7. オプションの設定

(1)「オプション」のタブをクリックします。オプションの設定をします。

ドメインネーム:

プライマリDNS:

セカンダリDNS:

TCP/IPはこのプロバイダ設定にしたがう

IPアドレス: プロバイダより割り当てられる

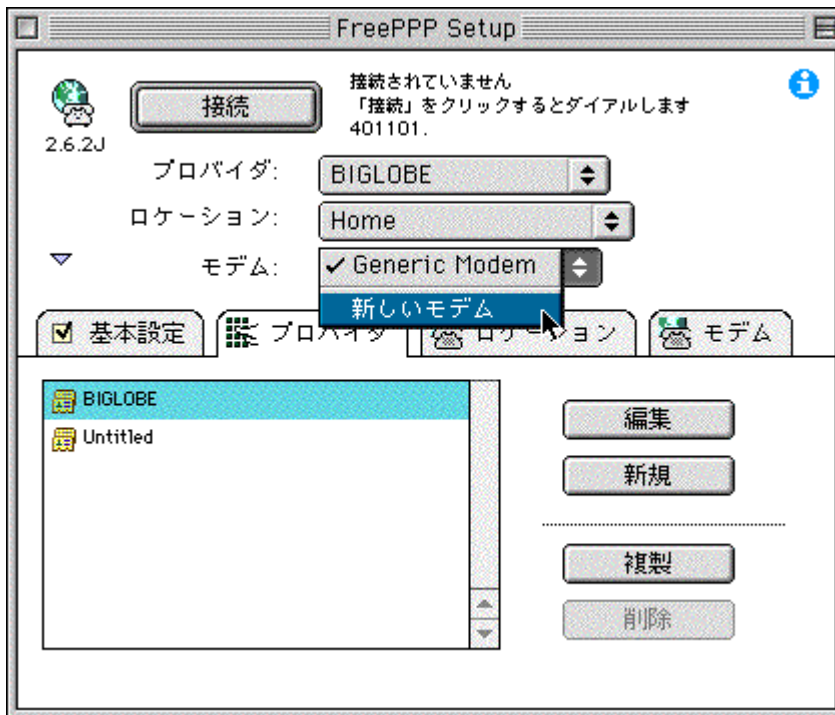
キャンセル OK

- ・「ドメインネーム」について
「プライマリDNS」「セカンダリDNS」にプロバイダから通知されたIPアドレスを入力します。
DNSの設定の必要性がないプロバイダの場合は、設定する必要はありません。
- ・「IPアドレス:」について
プロバイダよりIPアドレスが自動的に割り当てられる場合は、「プロバイダより割り当てられる」を選択してください。
プロバイダから固定のIPアドレスが指定されている場合は、ユーザ情報の資料を参照して入力します。

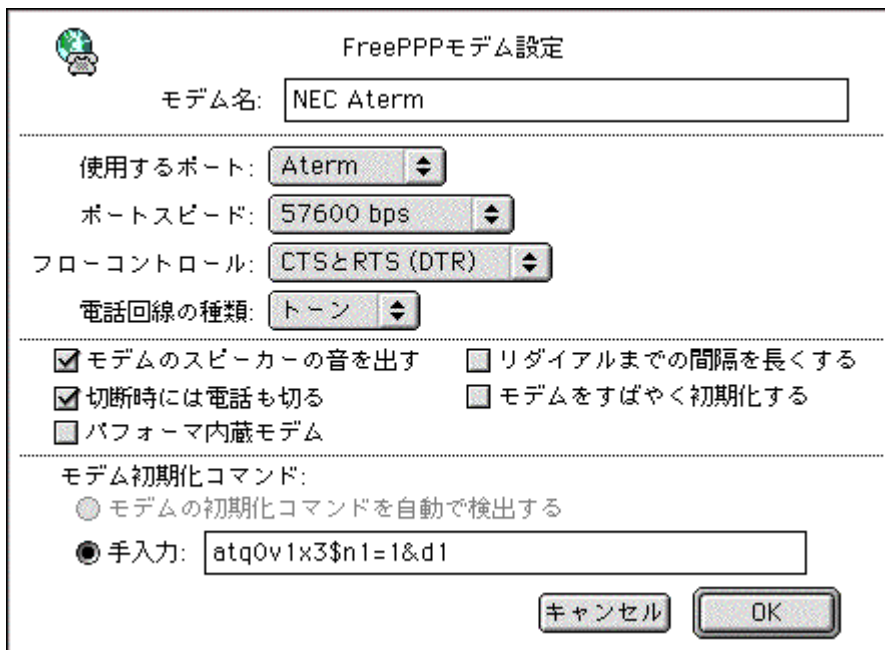
(2)「OK」をクリックします。

8. モデムの設定

(1) 「モデム」欄のプルダウンメニューから「新しいモデム」を選択します。



(2) FreePPP モデム設定を行います。



- ・ 「モデム名」欄に任意の名称（一般的にはご利用のAtermの名称）を入力します。
- ・ 「使用するポート」欄のプルダウンボタンをクリックして Aterm を接続したポートを選択します。 Macintosh と Aterm を USB ケーブルで接続する場合は USB ドライバのインストールが必要になります。 USB ドライバのインストール方法については、ご利用になっている Aterm の取扱説明書をご覧ください。

- ・「ポートスピード」欄のプルダウンボタンをクリックして、アクセスポイントにあわせてポートスピードを選択します。
- ・「フローコントロール」欄のプルダウンボタンをクリックして「CTS と RTS (DTR)」を選択します。
- ・「電話回線の種類」欄のプルダウンボタンをクリックして「トーン」を選択します。
- ・「モデム初期コマンド」欄には、「手入力」を選択して、プロバイダのアクセスポイントの条件に合わせて初期設定コマンドを半角文字で入力します。

AtermIT/ITX シリーズ、AtermIW/IWX シリーズの場合

| アクセスポイント | 初期設定コマンド |
|---------------------------------|--|
| ISDN 回線 64Kbps 同期、フレッツ ISDN の場合 | ATQOV1X3&D1\$N1=1 (RS-232C で接続時) ATQOV1X3&D0\$N1=1 (USB で接続時) |
| ISDN 回線 128Kbps 同期 | ATQOV1X3&D1\$N11=1 (RS-232C で接続時) ATQOV1X3&D0\$N11=1 (USB で接続時) |
| ISDN 回線非同期 | ATQOV1X3&D1\$N1=0¥Q3 (RS-232C で接続時) ATQOV1X3&D0\$N1=0¥Q3 (USB で接続時) |
| PIAFS 32K | ATQOV1X3&D1\$N1=2\$N15=0¥Q3 (RS-232C で接続時) ATQOV1X3&D0\$N1=2\$N15=0¥Q3 (USB で接続時) |
| PIAFS64K | ATQOV1X3&D1\$N1=2\$N15=1¥Q3 (RS-232C で接続時) ATQOV1X3&D0\$N1=2\$N15=1¥Q3 (USB で接続時) |

AtermRS7、AtermRS20 の場合

| アクセスポイント | 初期設定コマンド | 親機の「データ発信モード」の設定(備考1) |
|---------------------------------|--|----------------------------------|
| ISDN 回線 64Kbps 同期、フレッツ ISDN の場合 | ATQOV1X3&D1\$NP1=1 (RS-232C 接続時) ATQOV1X3&D0\$NP1=1 (USB 接続時) | プロトコル変換モード(同期64k) |
| ISDN 回線非同期 | ATQOV1X3&D1\$NP1=1 (RS-232C 接続時) ATQOV1X3&D0\$NP1=1 (USB 接続時) | プロトコル変換モード(非同期 9.6k ~ 非同期 57.6k) |
| PIAFS 32K | ATQOV1X3&D1\$NP1=0 (RS-232C 接続時) ATQOV1X3&D0\$NP1=0 (USB 接続時) | PIAFS スルーモード |
| PIAFS64K | ATQOV1X3&D1\$NP1=1 (RS-232C 接続時) ATQOV1X3&D0\$NP1=1 (USB 接続時) | PIAFS スルーモード |

(備考1)

RS7 / RS20 が登録されているワイヤレス親機 (IW/IWX シリーズ) の無線ポートの「データ発信モード」の設定が必要です。「データ発信モード」は、無線ポートからデータ発信を行う際の、INS 回線上の通信モードを指定します。

設定には、ワイヤレス親機に添付されている設定ユーティリティ (らくらくアシスタントなど) を利用してください。

(3)「OK」をクリックして FreePPP Setup の画面に戻ります。

9. 接続先・機器設定

(1) 「プロバイダ」欄のプルダウンボタンをクリックして“プロバイダ設定時”につけた名前を選択します。例では、“BIGLOBE”を選択しています。

(2) 「ロケーション」欄のプルダウンボタンをクリックして“Home”を選択します。

(3) 「モデム」欄のプルダウンボタンをクリックして“モデム設定時”に入力した名称を選択します。例では“NEC Aterm”を選択しています。



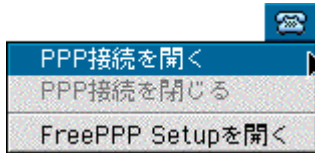
(3) 画面左上のチェックボックスをクリックして設定画面を終了させます。

10. 接続

(1) 接続の方法には次の2つがあります。

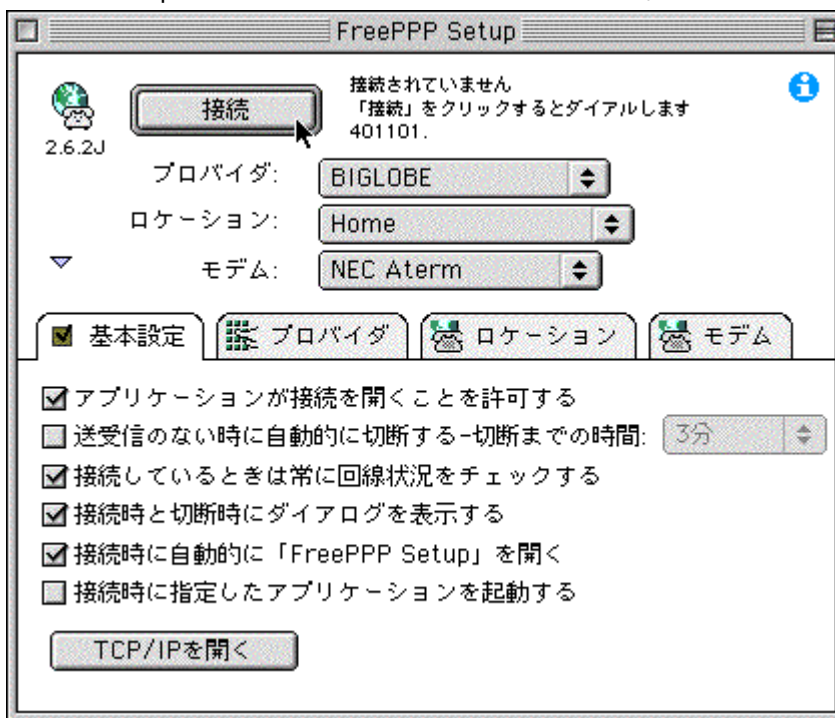
接続の方法 その1

メニューバーの「電話マーク」アイコンをクリックして表示されたプルダウンメニューから「FreePPPを開く」を選択します。



接続の方法 その2

FreePPP Setup 画面の「接続」ボタンをクリックします。



(2) FreePPP 接続状況画面が表示され、プロバイダに電話をかけ、ユーザ名とパスワードの確認が行われます。



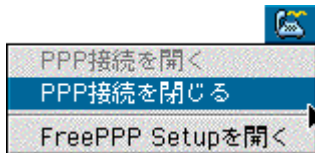
(3) 接続表示確認後、Web ブラウザを起動して、インターネット上のホームページの参照ができれば完了です。

11. 切断

(1) 切断の方法には、次の2つがあります。

切断の方法 その1

メニューバーの「電話マーク」アイコンをクリックして表示されたプルダウンメニューから「FreePPP を閉じる」を選択します。



接続の方法 その2

FreePPP Setup 画面の「切断」ボタンをクリックします。



(2) 通信回線が正常に切断されると FreePPP Setup 画面の「切断」ボタンが「接続」ボタンに変わります。液晶ディスプレイをもつ Aterm の場合、「データセツダン」が20秒間表示されます。

(ご注意)

- ・回線が繋がったまま放置すると、通信費用がかかり続けます。このようなときは、Aterm と INS ネット 64 を接続しているケーブルを一度抜いて回線を切断してください。Aterm の回線ケーブルを抜くと、Aterm のすべての通信は切断されます。他の機器が通信中（通話中）でないことを確認してからケーブルを抜いてください。
- ・アクセスポイントまで接続した後に、認証の失敗などで接続できないことがあります。その場合は、接続できなくても通信料金がかかります。